

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 <input type="checkbox"/> 支援部門 防安-03 かけ地対策事業						
主管課	総合防災課	関連課					
分野名	地域安全						
目標 (目標値)	安全で快適な生活を送れるまち。災害に強い安心して暮らせるまちをめざします。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数	177,895人	177,224人	177,204人			
事業費(千円)	86,772	85,639	112,127				
運営資源状況	(国・県)						
	(負担金等)	744	1,233	1,809			
	(一般財源)	86,028	84,406	110,318			
	人員配置数	2.5人	2.5人	2.3人			
	人件費(千円)	21,021	22,146	22,486			
	協働のパートナー						
	事務事業 運営経費	総事業費(千円)	107,793	107,785	134,613		
	市民1人当りの経費(円)	606	608	760			
	対象者1人当りの経費(円)	606	608	760			
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
急傾斜地指定箇所数	○	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	89	90	91	91	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
急傾斜地崩壊対策事業	1,942	かけ地対策事業	93,295	今後の方向性	A	理由・手法	神奈川県と一体となり急傾斜地崩壊危険区域の指定。急傾斜地崩壊危険区域の防災工事の実施。危険なかけ地の調査を行い、既成宅地等防災工事資金の助成の推進。
急傾斜地防災工事負担事業	54,868						
既成宅地等防災工事助成事業	29,962						
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	台風等で災害のあった崖を、急傾斜地事業へ誘導して、再度災害防止に備える。							
課題解決のための取組	植木については、現在指定に向けて県が進めている。					取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決	
未解決の課題	今後指定され、崩壊防止工事が完了するまで時間を要する。							
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)			➡	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	、樹木の管理が行われていない市内の山は増加しており、伐採の助成申請件数が増えているが、全てに対応していく。また、急傾斜地崩壊危険区域の指定相談が増えており、県と連携をしていく。						A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡ A	
※□事業完了								

評価者名

総合防災課長

長崎聡之

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
急傾斜地崩壊対策事業	危険ながけ地の調査を行い、既成宅地等防災工事資金の助成を推進する。				○	○	○	○	
	主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		268	事務補助嘱託員報酬 2人	2,056	1,542	○	○	○	○
		268	事務補助嘱託員交通費	288	95	○	○	○	○
		268	消耗品費	76	76	○	○	○	○
268	神奈川県治水砂防協会負担金等	229	229	○	○	○	○		
268	既成宅地等防災工事利子補給金	50	0	○	○	○	○		
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
急傾斜地防災工事負担事業	急傾斜地崩壊危険区域の防災工事を実施する。				○	○	○	○	
	主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		269	急傾斜地防災工事負担金	60,020	54,868	○	○	○	○
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
既成宅地等防災工事助成事業	神奈川県と一体となり急傾斜地崩壊危険区域の指定を行う。				○	○	○	○	
	主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		270	既成宅地等防災工事補助金	34,000	29,218	○	○	○	○
		270	既成宅地等防災工事融資預託金	800	744	○	○	○	○
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								